

お礼

本日は、多くの方々のご参会のもと、かくも盛大に研究大会を開催できましたことに、心より感謝を申し上げます。そして、本会の開催にあたり、文部科学省リーディング DX スクール事業・委員長の堀田先生、並びに副委員長の高橋先生、そして文科省の荒川様より、ご指導・ご助言をいただく機会をいただきましたことにも重ねて、御礼を申し上げます。また、指導案づくりから本日の公開授業まで、親身になってご指導・ご助言・温かい励ましをいただきました、小松教育事務所の指導主事の先生方にも、心から感謝を申し上げます。本会は、65回と歴史ある石川県視聴覚教育研究大会も併催とし、石川県内の視聴覚教育の在り方を考える一つのきっかけとなったことにも、極めて意義深さを感じております。

さて、本校では研究主題にもある通り「自立した学習者」の育成を目指して研究を進めております。生徒たちの「自立」を支えていくツールとして、一人一台端末はもはや必然であり、「デジタル学習基盤」を前提とした学びという視点は必須となります。また、生成 AI 時代を本格的に迎える今、児童生徒の「深い学び」にネクスト GIGA がどう踏み込んでいくか、これも大きな課題だと捉えています。日本全国の教員の注目が、今後の教育の方向性に集まる中、本日、日本の「教育 DX」を今までに先頭に立ってリードされている堀田先生と高橋先生から、貴重なご教示をいただけたことに、この上ない幸せを感じております。

本校は、目指す教師像として「変化をおそれず、不易流行の精神で学び続ける教師」を掲げています。国の第 4 期教育振興基本計画のベースにも謳われている「不易流行」、つまり「いつまでも変わらないものの中に、新しい変化を取り入れること」を今後も実践していきたいと考えています。「教育 DX」という「流行」を推し進めていく中でも、教育の「不易」の部分も大切に温めながら、子どもたちの未来を支え、応援していきたい、と強く心に誓う次第です。

最後に、別の話題を一つ紹介します。本日公開授業を行いました。浜小学校と根上中学校は、元メジャーリーガー・松井秀喜さんの母校です。先日、松井さんは市内の中学校 2 年生にビデオメッセージを送ってくださいました。その中で、松井さんは「夢はあるか?」と中学生に問いかけました。松井さんは夢を追いかけ、努力を重ね、その夢を一つ一つ実現していきました。私たちは、子どもたちが、しっかりと自分の夢を持ち、その夢を叶えていけるよう、精一杯、応援していきたいと思っています。ちなみに、本校から車で 5 分くらいのところに、「松井秀喜ベースボールミュージアム」があります。このミュージアムは、松井さんが野球を通して「夢」を追いかけ続けることの大切さをテーマに創設されました。高橋先生も何回かいらっしゃったことがあると聞いています。閉館時間が 17 時までとなっていますので、本日は無理かと思いますが、お時間がある時に、ぜひお立ち寄りいただけたらと思います。

本日、ご参会の皆様方のご健康とご多幸、そして一層のご活躍をお祈りして、御礼のあいさつといたします。皆様、本日は、誠にありがとうございました。

令和 7 年 11 月 21 日
能美市立根上中学校
校長 大下 佳宏